

断水被害にあわれた方々に
謹んでお見舞い申し上げます。

市民の方の命を守ります！

政権与党の
国会議員にしか
できないこと

六十谷水管橋崩落を受け、
自民党の総力を上げ、
和歌山の声を国にいち早く届け、
早期の仮復旧を実現させました！





▲ 10/3 関係各所に連絡



▲ 10/4 赤羽国土交通大臣(当時)



▲ 10/4 国土交通省 水管理・国土保全局長



▲ 10/5 浮島衆議院議員、尾花市長と現場視察



▲ 10/5 信太山連隊長に御礼

10/3(日)

16:00 六十谷水管橋崩落

18:00 和歌山市役所にて自民党市議団と緊急対策会議を実施、国土交通省へTEC-FORCEの派遣を要請。

10/4(月)

朝一番の関空便で上京、

- ① 国土交通省にマンパワーと叡智の提供を依頼
- ② 防衛省に給水活動を依頼
- ③ 総務省には財政的支援
- ④ 厚生労働省には全面的なバックアップを依頼
そして、深夜、和歌山に戻る。

その結果

国土交通省 ▶ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣、散水車や給水車、技術的支援、河川内工事の支援等

自衛隊 ▶ 信太山駐屯地の約100名の自衛官による給水活動支援

10/5(火)

尾花市長と共に改めて現場を確認いたしました。仮復旧のスケジュールや本復旧、そして今後のための別ルート新設など、これからの対応について意見交換をしました。

10/11(月)

浮島衆議院議員、尾花市長と共に岸田新内閣の総務大臣、国土交通大臣を訪問。水管橋の復旧工事に係る予算の確保をお願いしました。

想像以上のコストがかかりそうですが、市民の方の命、水道を守るため、門博文に一票をよろしくお願いたします。



▲ 10/11 金子総務大臣



▲ 10/11 斉藤国土交通大臣